

卸・小売業界向けサービス

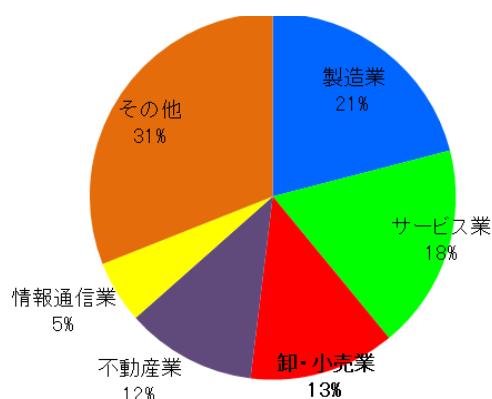
『Fact-Retail』の提供開始について

株式会社テクノスジャパン(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:城谷直彦)は、卸・小売業界の動向とICT技術の高度化を踏まえ、お客さまの経営課題解決サービスとして『Fact-Retail』の提供を6月より開始します。当社の約20年に及ぶERP導入実績と経験豊富な技術集団がもつノウハウをもとに、本サービスを展開させることで、お客さまの成長戦略実現を支援します。

卸・小売業の動向

我が国経済社会において、製造業・サービス業に次ぐ産業である卸・小売業は、GDP全体の約13%を占めており、また業界全体では約130兆円を超える巨大市場ですが、この10年、通信販売・ドラッグストア・コンビニ業界による売上拡大が顕著となってきています。インターネットやモバイル等のICT技術の普及に伴い、電子商取引の分野でも市場拡大が続いている。

国内 GDP 産業別占率



出典:内閣府 2011年度国民経済計算書

国内小売業の売上高推移(業種別)

	【平成13年】	【平成23年】
コンビニ	6.7兆円	8.7兆円(↑)
ドラッグストア	2.7兆円	5.6兆円(↑)
通信販売(ネット含む)	2.5兆円	4.7兆円(↑)
総合スーパー	15.9兆円	12.7兆円(↓)
百貨店	8.6兆円	6.2兆円(↓)
ホームセンター	3.8兆円	2.7兆円(↓)
小売業全体	136.8兆円	134.0兆円

出典:商業販売統計、業界調査

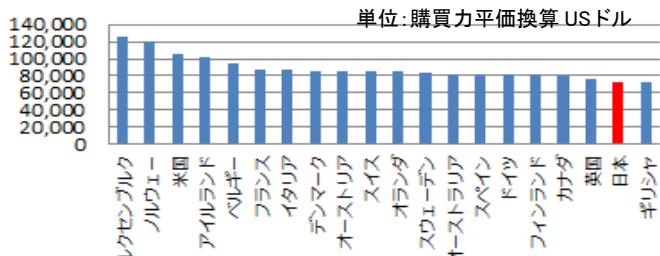
小売業の設備投資額は、円安による収益改善や国内景気の持ち直しの影響もあり、昨年の2割増しと投資意欲が高まっている一方、人口減少・少子高齢化に伴う市場構造の変化や、アジア等新興国の急速な成長に伴い、海外進出は日本企業のグローバル戦略上、不可欠なものとなっています。いま、高品質ブランド・高い技術力を持ってしても、グローバリゼーション化のなか、勝ち残っていくことは容易ではありません。さらに日本企業の生産性は欧米諸国と比べ低い水準であることが課題であり、生産性の高効率化が喫緊の課題となっています。

アジア小売業販売額の変化



出典:流通経済研究所 2011

OECD加盟諸国の労働生産性比較



出典:(財)日本生産性本部 2011

昨今、業務提携・経営統合による事業再編や、異業種・異業態間競争は激化しており、顧客ニーズを捉えた販売チャネル(インターネット・スマートフォン等のICT技術を活用したマルチサービス)多様化はさらに進むと考えられます。また、経済のグローバル化やコスト削減ニーズを受け、輸送手段を世界横断的に組み合わせるグローバルSCMも展開されるようになってきました。

『Fact-Retail』について

卸・小売業界が抱える経営課題に対し、ICTソリューションによる解決ニーズが高まるなか、当社は調査研究を進めてまいりましたが、高効率化・高付加価値化・新市場開拓を実現可能とする『Fact-Retail』の提供を開始します。

1、高効率化

店頭の販売情報をリアルタイムに把握し、消費者側の流行やニーズの変化等を原材料調達や製品加工等に柔軟に反映させることで、物流コスト低減と消費者ニーズに適合した商品・サービスの提供を可能とします。

2、高付加価値

効率化を促進する一方で、さらなるサービスの質の向上を目指すために、顧客の購買行動等に関する情報を活用し、個々の顧客ニーズや嗜好にマッチした提案を行うことが必要です。そのために購入履歴等の情報を、ただ蓄積するだけでなくビッグデータという形で分析し今後の事業運用に役立てるなどを可能とします。

3、新市場開拓

グローバル対応した基幹システムやクラウドサービスの活用により、新市場での事業展開を効率的に行うことを可能とします。

『Fact-Retail』を通じて、物流業務の適正化、販売における生産性の向上、グローバル展開支援といった観点からお客様企業の成長戦略実現に向けた支援を行います。当社は、来年創業20周年を迎えます。今後も更なる成長を遂げられるよう社員一体となって取り組み、お客様から信頼いただけるトップクラスのICTコンサルティングカンパニーを目指してまいります。

→ [Fact-Retailの特長はこちらから](#)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社テクノスジャパン

代表 : (03)3374-1212(代表) / FAX: (03)3374-1213

E-mail: info@tecnos.co.jp

URL : <http://www.tecnos.co.jp>